



ビッグデータを活用した 交通安全対策プロジェクト

潜在的な交通危険箇所の「見える化」

2023年6月21日
市長定例記者会見

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

ビッグデータを活用した交通安全対策プロジェクトの全体像

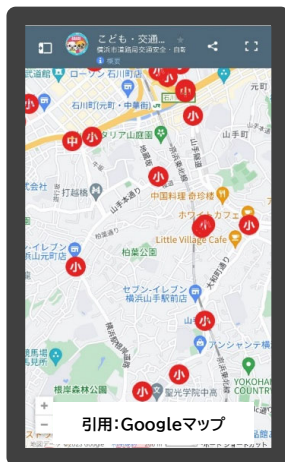


明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

■ソフト対策

・こども・交通事故データマップの公開
(令和5年3月)

- ・教育現場
 - ・スクールゾーン対策協議会
 - ・見守り活動(はたふり)
 - ・交通安全教室
- など、交通安全活動で活用



・市立全小学校(340校)通学区域内での取組



スクールゾーン対策協議会



見守り活動(はたふり)



交通安全教室

・交通安全推進校通学区域内での取組



放課後キッズクラブ



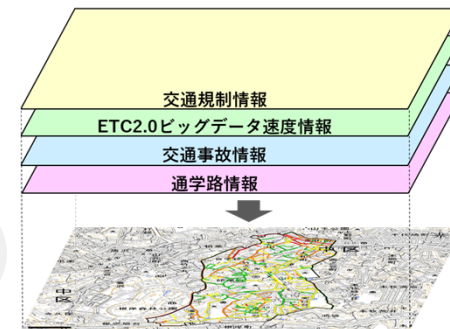
幼児交通安全教育訪問指導

交通安全教育を
重点的に実施

■ハード対策

・交通安全対策の立案(令和5年6月)

ビッグデータを活用した
潜在的な交通危険箇所の
「見える化」による交通安全対策



データの重ね合わせのイメージ

・交通安全推進校通学区域内での取組



区画線
(減速ドットマーク)



グリーンベルト



交差点カラー化



狭さく



スムーズ横断歩道

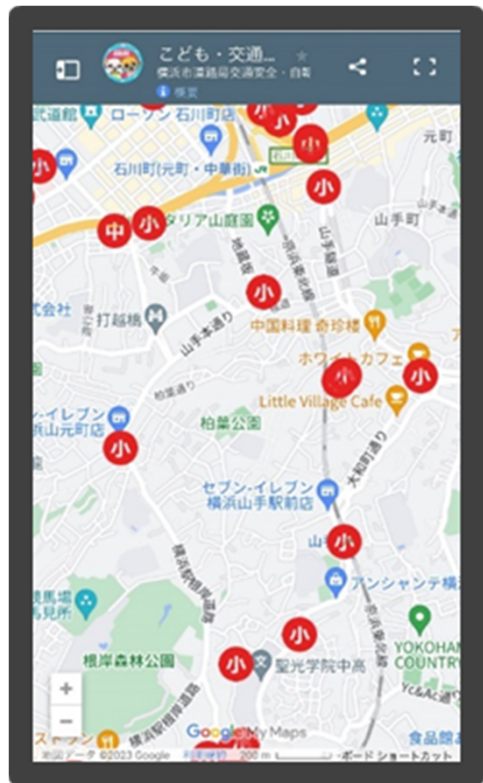


ハンブ

こども・交通事故データマップ閲覧回数の推移

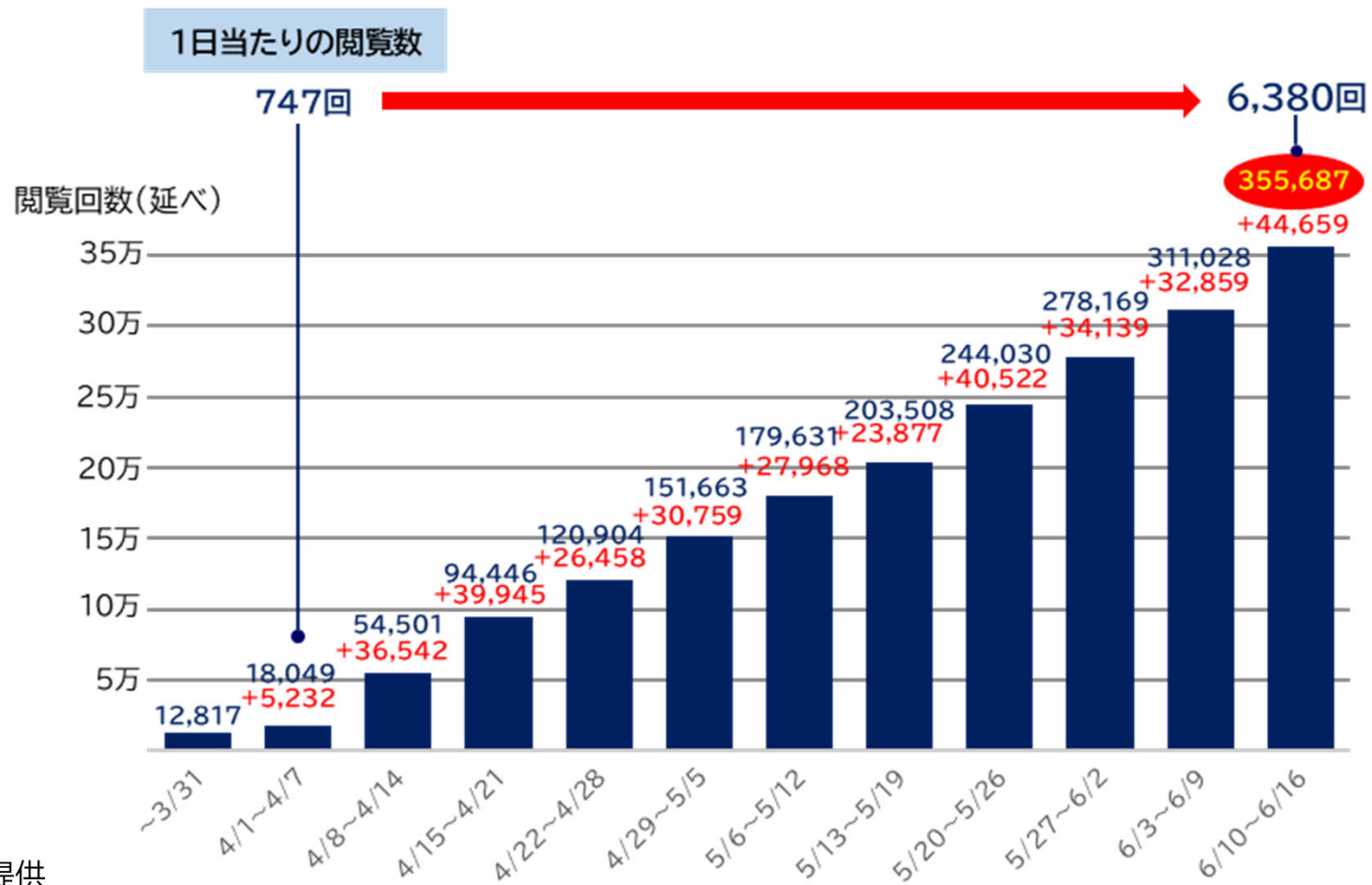


明日をひらく都市
OPEN X PIONEER



引用:Googleマップ

※交通事故データは神奈川県警察より提供



データマップを活用した学校現場での取組



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

データマップ活用の取組

令和5年
3月 「こども・交通事故データマップ」提供
(市立学校全506校)

6月 通学路図とデータマップの突合
(小学校全340校が実施)

7～3月 データマップ活用例の周知

令和6年
2月 学校やスクールゾーン対策協議会等
の活用事例と成果を収集
(小学校全340校で共有)

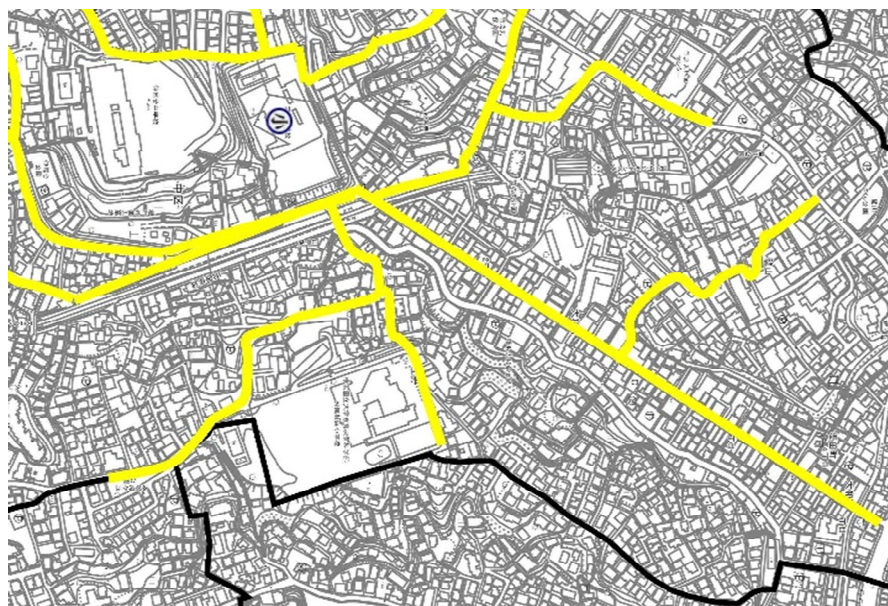
データマップの活用例

- ・ 登下校時等における現地での安全指導
- ・ 地域住民や保護者が実施する登下校時の見守り活動への活用
- ・ 児童の学習での活用
- ・ スクールゾーン対策協議会での活用



- ・ 事故発生箇所や発生時刻の情報を確認し、重点的、効率的に見守り活動を行う。
- ・ 児童の授業の発表資料やまち探検で活用。

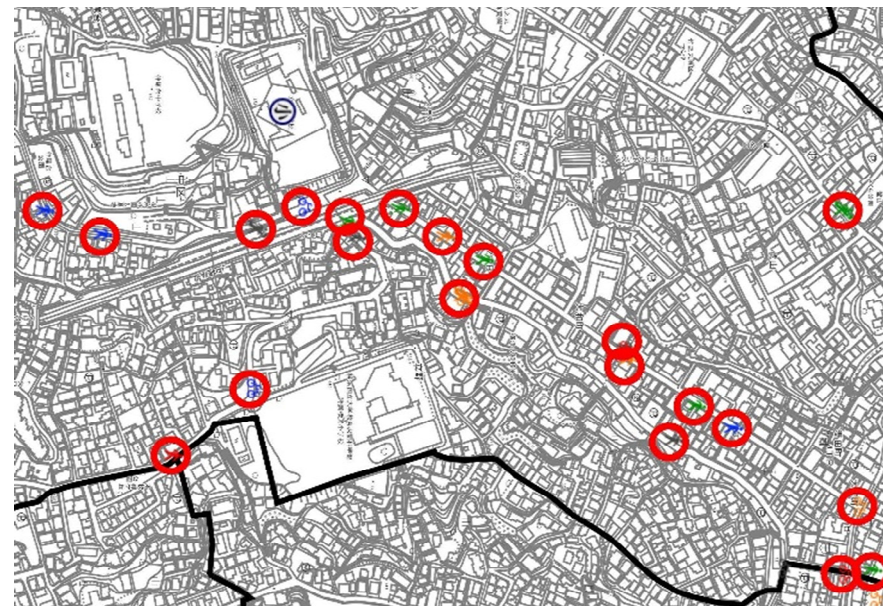
通学路図とデータマップの突合



▲立野小学校の通学路図（一部）

+

突合



▲左図における交通事故箇所

過去5年間の子どもの事故発生箇所や事故の状況を確認
通学路の見直しを含めた検討

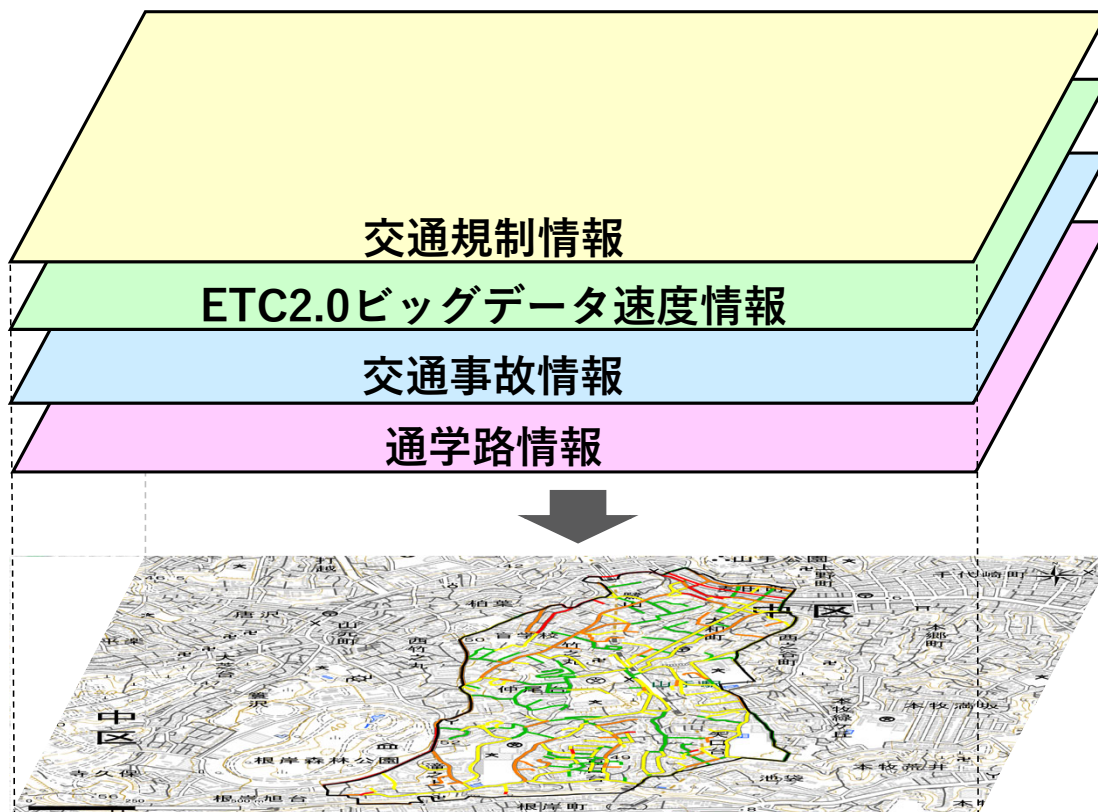
学校・子ども・保護者・地域の交通安全の意識醸成
通学路における子どもの交通事故未然防止

データの重ね合わせのイメージ



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER



分析

交通安全上の課題

対策の内容

関係機関等との調整※

※警察との事前調整

※地先利用者との調整が必要

※国土地理院地図を加工して横浜市が作成

※ETC2.0分析結果（国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所提供）
を加工して横浜市が作成

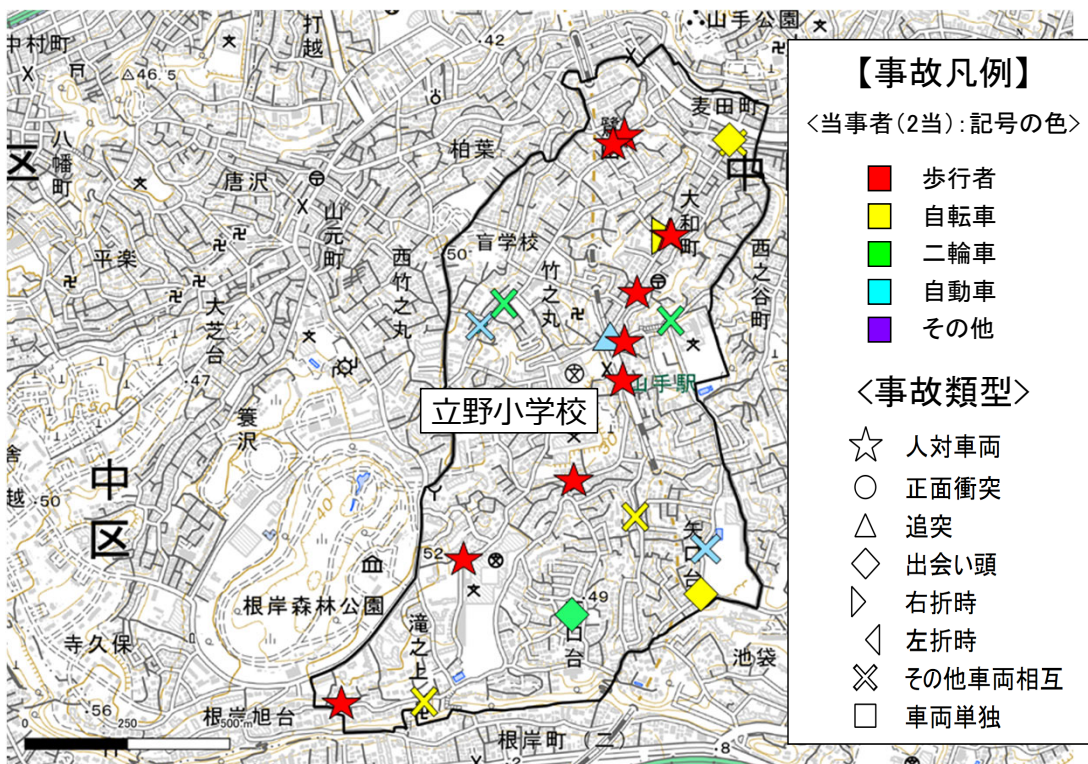
STEP 01

事故データ、ETC2.0速度データの重ね合わせ



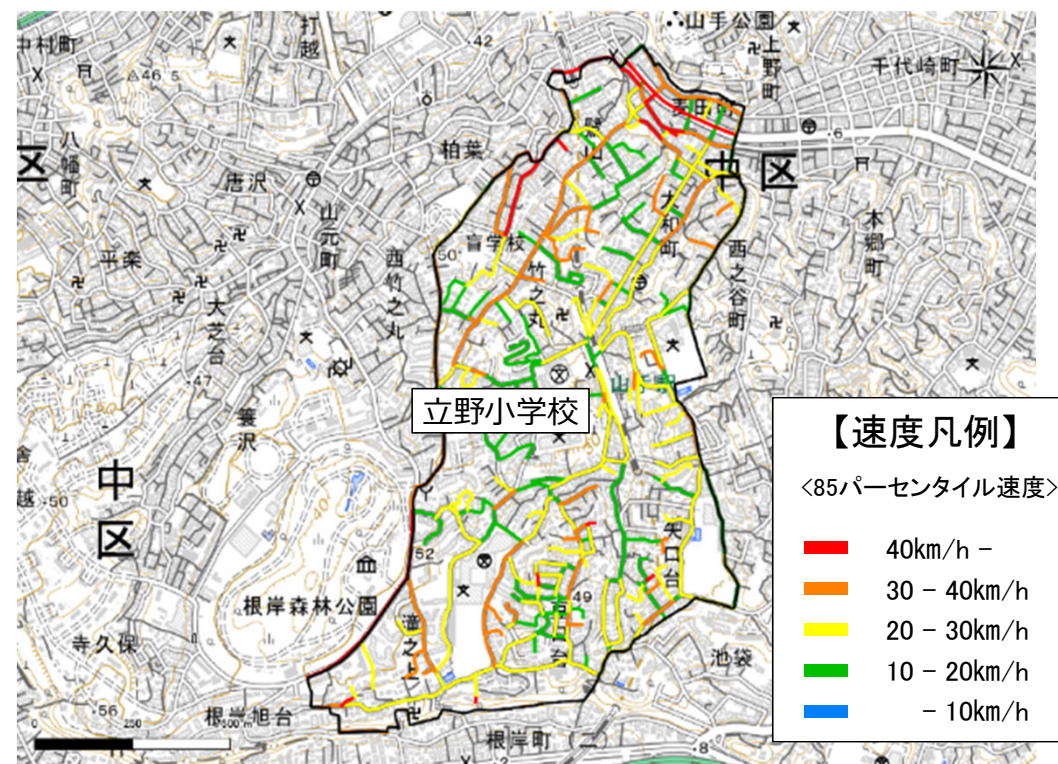
明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

交通事故データ



※国土地理院地図を加工して横浜市が作成
 ※交通事故データ（神奈川県警察本部提供）を加工して横浜市が作成

ETC2.0速度データ



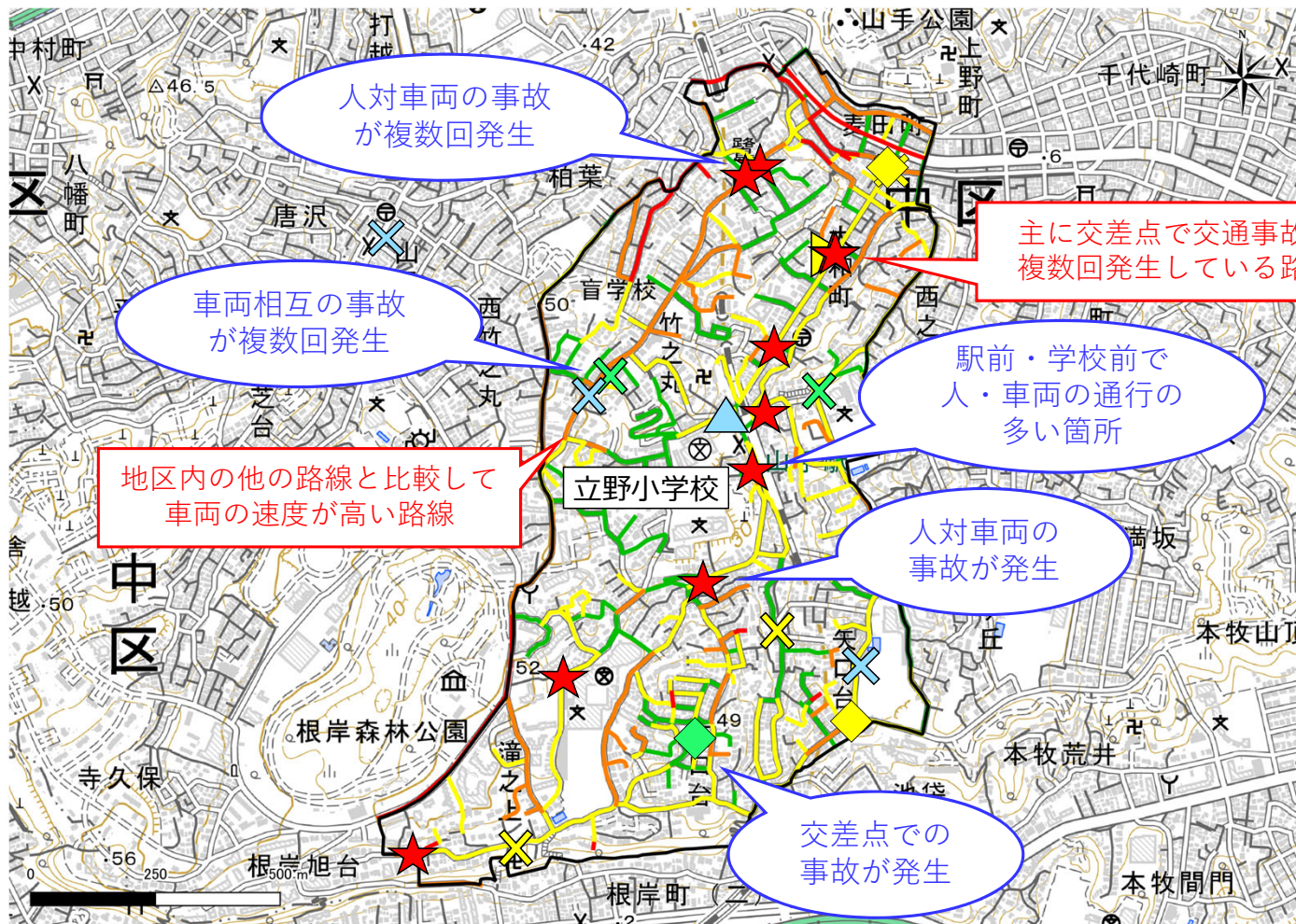
※国土地理院地図を加工して横浜市が作成
 ※ETC2.0分析結果（国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所提供）を加工して横浜市が作成

STEP 02

交通危険箇所の抽出



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER



【事故凡例】

<当事者(2当): 記号の色>

- 歩行者
- 自転車
- 二輪車
- 自動車
- その他

<事故類型>

- ☆ 人対車両
- 正面衝突
- △ 追突
- ◇ 出会い頭
- ▷ 右折時
- ◁ 左折時
- ⊗ その他車両相互
- 車両単独

【速度凡例】

<85パーセンタイル速度>

- 40km/h -
- 30 - 40km/h
- 20 - 30km/h
- 10 - 20km/h
- - 10km/h

※国土地理院地図を加工して横浜市が作成 ※交通事故データ(神奈川県警察本部提供)を加工して横浜市が作成
 ※ETC2.0分析結果(国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所提供)を加工して横浜市が作成

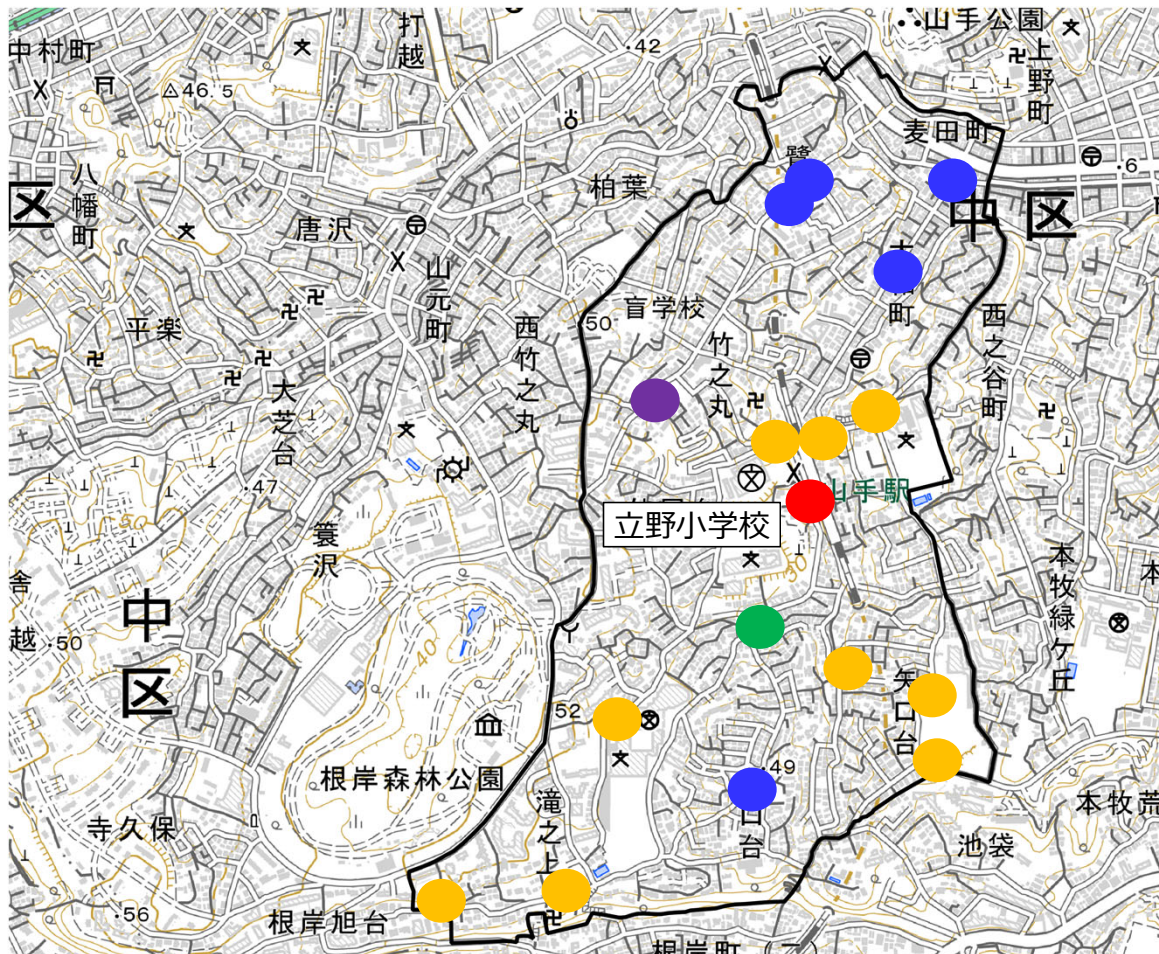
STEP 04

対策案の立案



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER



※国土地理院地図を加工して横浜市が作成

交差点での事故



カラー舗装・区画線

車両相互の事故



「対向注意」路面標示

歩行者と車両の事故



グリーンベルト (引き直し)

小学生の通行の多い箇所



スムーズ横断歩道

交通安全啓発

【参考】スムーズ横断歩道とは



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

車両の運転者に減速と横断歩行者優先の遵守を促す、ハンプと横断歩道を組合わせた構造物

<緑区中山町地区の事例>



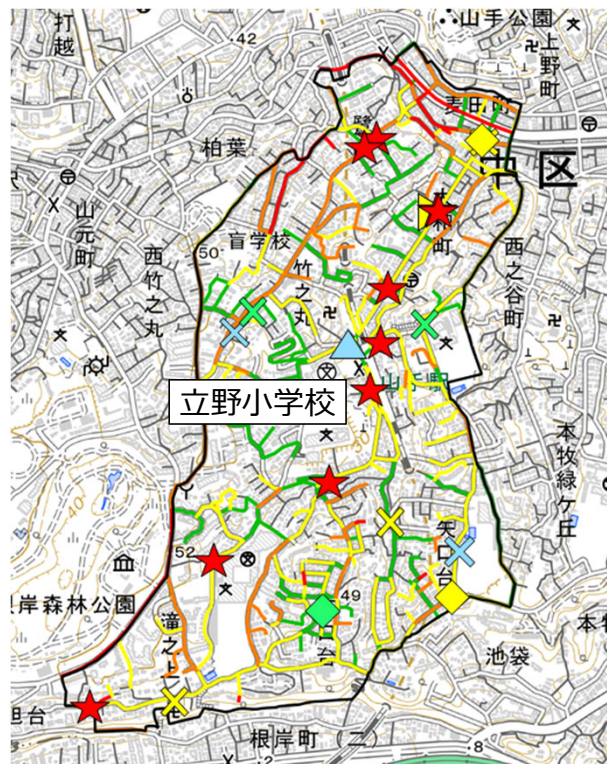
段差による車両の速度抑制

横断歩道が高くなることで運転者から児童の視認性が向上

データと交通安全対策案との比較



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER



【事故凡例】
 <当事者(2当):記号の色>

- 歩行者
- 自転車
- 二輪車
- 自動車
- その他

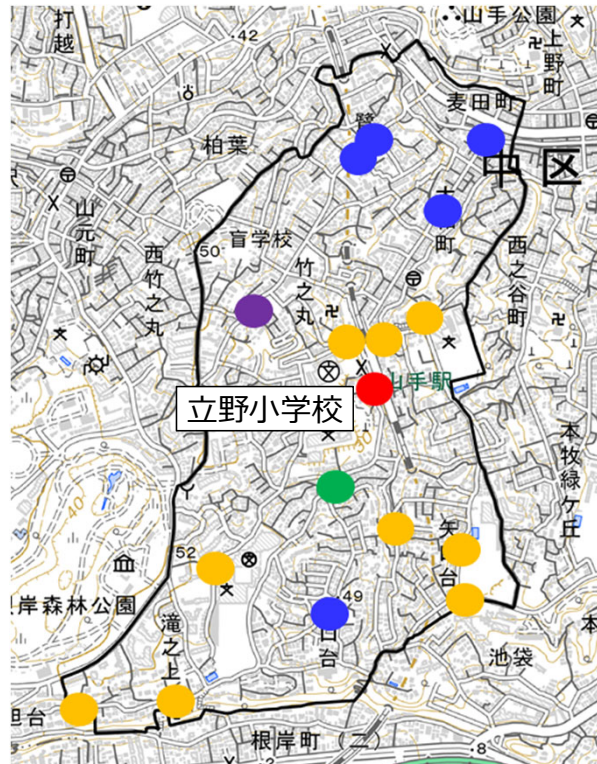
<事故類型>

- ☆ 人対車両
- 正面衝突
- △ 追突
- ◇ 出会い頭
- ▷ 右折時
- ◁ 左折時
- ⊗ その他車両相互
- 車両単独

【速度凡例】
 <85パーセンタイル速度>

- 40km/h -
- 30 - 40km/h
- 20 - 30km/h
- 10 - 20km/h
- - 10km/h

データによる交通危険箇所



交通安全対策箇所

交差点での事故

カラー舗装・区画線

車両相互の事故

「対向注意」路面標示

歩行者と車両の事故

グリーンベルト (引き直し)

小学生の通行の多い箇所

スムーズ横断歩道

交通安全啓発

※国土地理院地図を加工して横浜市が作成 ※交通事故データ(神奈川県警察本部提供)を加工して横浜市が作成
 ※ETC2.0分析結果(国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所提供)を加工して横浜市が作成

データの重ね合わせにより交通危険箇所を見える化し対策を実施

今後の進め方



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER



地域への説明

スクールゾーン対策協議会※にて
地域の方々へ対策案の説明

※スクールゾーン対策協議会
小学校が主体となって、保護者や地域の町内会・自治会、老人クラブ、交通安全協会などで組織



関係機関等との調整

説明を行った対策案をもとに
関係機関※や対策を実施する
周辺にお住まいの方と調整

※関係機関
主に交通管理者である警察を想定しています。



工事

調整した対策案をもとに
交通安全対策工事を実施。
一部の工事※を除き
令和5年度中に完了予定

※警察による新たな速度規制の設定を要する対策については、令和6年度完了予定。